

平成29年度第3回経営協議会議事要録

日 時 平成29年10月25日（水）10時30分 ～ 11時25分
場 所 宇都宮大学本部第一会議室
出席者 石田，飯村，観堂，五家，角，築，藤井，茅野，池田，久保の各委員
陪 席 堀監事，夏秋副学長，松金学長特別補佐，佐々木国際学部長，
阿山工学研究科長

議事に先立ち，9月14日にご逝去された藤井監事に対して出席者一同が黙祷を捧げ，謹んでご冥福をお祈りした。

続いて，平成29年度第2回（H29.6.28）宇都宮大学経営協議会議事要録（案）を確認し，原案のとおり承認した。

[報告事項]

1. 監事候補者選考会議の設置について

資料1

監査調整役から，資料1に基づき，監事候補者選考会議の設置及び今後のスケジュールについて報告があった。

2. 夏のオープンキャンパス2017の開催結果について

資料2

藤井理事から，資料2に基づき，夏のオープンキャンパス2017の開催結果について報告があった。

(主な意見等)

- 参加者に対し効果的な説明が行われている。しかしながら，入学してから費用等の問題が実際にはあることから，学生の負担軽減措置等について，他大学でのSNSの有効な利用方法も参考にして，次回のオープンキャンパスにおいては，入学してからも学生に対して勉強しやすい様々な環境が整っている旨の説明があるとさらに良いのではないかと。

(学生に対し既に実施している取組，その他の経済的支援等も含め，改めて整理の上，発信していきたい。)

- アンケート集計結果における，「良かった点」，「悪かった点」の具体的内容を分析の上，改善に努めていただきたい。

3. 秋のオープンキャンパス2017の開催について

資料3

藤井理事から，資料3に基づき，秋のオープンキャンパス2017の開催について報告があった。

(主な意見等)

- 祝日開催は，アイデアとしては非常によい。

4. 平成29年度宇大未来塾「とちぎ志士プログラム」について

資料4

茅野理事から，資料4に基づき，平成29年度宇大未来塾「とちぎ志士プログラム」について報告及び関係各位への謝辞並びに協力依頼があった。

(主な意見等)

- リーフレットが凄く良く出来ており，お洒落に勉強ができるイメージが湧き非常に期待している。

- 非常に良いプログラムであり，生涯学習として社会人が如何に学ぶかという一つの施策と

なっている。なお、運営面については参加費を徴収していることから、民間の考えを盛り込みながらしっかりと実施いただきたい。

・本プログラムは、半期のプログラムなのか。今回、社内案内の結果、多数の希望者がいたので、次回申込時期等の周知を早期にいただき、社内でも参加者の検討を行いたい。(今年度はスタート準備期間があったことから10月スタートになった。次年度については、5月か6月に開講し、夏の合宿も含め8月下旬か9月に終了というプログラムを考えている。また、早期に広報するように努めたい。)

・別に取り組んでいる社会人向けのマネジメント講座(MOT)については、引き続き実施されるのか。

(来年度は、MOTで実施していた経営工学的なセンスのプログラムを未来塾にシフトさせ、未来塾としてのプログラムを発展させる予定である。)

5. 平成30年度宇都宮大学概算要求(運営費交付金等)の概要について 資料5

財務課長及び施設課長から、資料5に基づき、文部科学省から財務省に提出された「平成30年度宇都宮大学概算要求(運営費交付金等)の概要」及び「高等教育局主要事項」等について報告があった。

6. 財務レポート2016について 資料6

財務課長から、平成28事業年度財務諸表については、平成29年6月28日に文部科学大臣に提出し、平成29年8月31日付けで承認となった旨の報告があった。

また、平成28事業年度決算を中心に財務の側面から取り纏めた本学の取組事業について、資料6「財務レポート2016 平成28事業年度宇都宮大学財務報告」として公表した旨の報告及び昨年度からの改定主要事項について説明があった。

7. その他 参考資料

学長から、参考資料に基づき、平成29年6月から10月における本学関係記事について紹介があった。

(主な意見等)

・先日配布された冊子「I D Eー現代の高等教育」に藤井理事の社会貢献関連記事が掲載されていて、非常にわかりやすく参考になった。その冊子中、高知大学の先生が出している記事で、実行したことの商用化、県との連携、共通テストの成績を踏まえた取組など、様々な実績を強調されている。本学もロボットの関連であったりイチゴの輸送技術など取組んでおられる。実際に商用化の進捗状況、或いは実績はどのような状況なのか。

(引き合いは多いが、まだ、具体化されていない状況である。現在、陽東キャンパスに科学技術実証拠点ということで、会社も複数入った環境での共同拠点の建物を整備している。また、イノベーションファーム的な温室も整備しているので、来年度以降は、これらが一体となって企業が入った環境で作業が始まるという計画となっている。)

(県との連携については、農業系ロボットなどにより、県と分析関連となる企業と積極的にタイアップしながら新しいプロジェクトに取り組んでいきたい。)

次回の経営協議会は、1月24日(水)10時から開催予定である旨の案内があった。

以上